

	号外	定価 1部2円	県人勧闘争スタート。6年連続の賃上げと諸手当改善に向けて署名に取り組めます。前進に向け結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2019県人勧闘争① 8.21地公共闘県人事委員会要請書提出

月例給・一時金  
6年連続賃上げ  
高齢層職員の賃金改善策

諸手当(通勤・住居等)  
遠距離通勤・家賃実態踏まえた  
通勤・住居手当改善を

# 人事委員会に要請書提出

=国追随の住居手当見直し許さず・職員負担解消前提の制度を=

岩手県地方公務員共闘会議（議長：佐藤淳一岩教組委員長）は、8月21日、2019県人勧に向けて16項目からなる要請書を菊池人事委員会事務局長に提出し、今年の県人勧闘争をスタートさせた。

佐藤議長は、「継続課題の改善を含め、職員の勤務意欲の確保のため、私たちに寄り添う勧告を求める」と言及し、その後、事務局から月例給・一時金引上げ、現給保障終了に伴う高齢層の賃金改善策、通勤手当・住居手当改善（特に遠距離通勤実態を踏まえた距離区分新設と上限額の改定）、両立支援策の充実、長時間労働是正のための対策を要請。国人勧で見直しが示された住居手当は、「引き下げとなる割合が半数に上るほか、上限額引き上げも実態改善とならない。国人勧追随ではなく、職員実態を踏まえた改善とすべき」と訴えた。



要請書を菊池事務局長（左）に提出する佐藤議長



改善勧告求める佐藤議長（左）

これに対し、菊池事務局長は「勧告・報告は例年ベースで分析等を進めている。職員の給与の適正な確保、中立・公正な機関としての使命を果たしていく。要請は次回の人事委員会で報告する」と述べたことから、重ねて検討を求め要請を終了した。人事院勧告では、全世代が実感できる賃金改善とは程遠く、県人勧での職員実態を踏まえた改善勧告が不可欠だ。県地公共闘は、9月に人事委員長あて大型ハガキ要請署名に取り組む。賃金改善と生活水準の維持、自己負担解消のため、県人勧闘争に全力をあげる。

# 大激戦・私たちの力で当選圏に押し上げよう！！

盛岡市議選・県職労組織内候補

# 野中やすし

# 終盤の巻き返しへ 懸命の訴え！

盛岡市議選も中盤から終盤となった。県職労組織内・『野中やすし』は市内を遊説し、熱く政策を訴えている。野中候補の政策は「子どもも、お年寄りも、働く人も、笑顔輝くまちづくり」。県庁前での街頭演説では、「安心して生活できる賃金となっていない現実を少しでも改善させていくためにも、働く人たちの思いをしっかりと届けていきたい」、「公務職場でも非正規雇用が増大。会計年度任用職員制度が導入されるが、臨時・非常勤職員の声をもとに処遇改善に向け努力する」と支持を訴えました。



雨に負けず県庁前の街頭

20日夜には、総決起集会を開催。県職労組合員をはじめ100人を超える支持者が駆けつけ、野中やすしを市議会に押し上げる決意を固めました。「野中やすし」は働く者・生活者の視点での政策を進めていくとの決意とともに、働く者の声を市政に反映していくため議席をしっかりと確保していきたいと訴え、支持拡大を要請しました。



総決起集会で支持訴える

# 『野中やすし』当選のため 一人ひとりの行動を！

「野中やすし」は必死に政策を訴えているが、いまだ当選圏内に入り切れていないとはいえ、厳しい選挙戦となっています。選挙戦も土曜まで。私たち一人ひとりがまだ声をかけていない友人・知人がいないか、確認し、あきらめず地道に声掛け続けることで当選圏内に押し上げ、野中市議の誕生を実現しよう。できることはまだ十分にあります。1日1人以上の声掛け行動を要請します。

投票日に投票できない方は **期日前投票を活用してぜひ投票を！**